

32. 笹の販売について

黒石営林署 鈴木喜代三郎

1. はじめに

最初に管内の概要について申し上げますと、当管内は奥羽山系南八甲田連峰の櫛ヶ峰及び十和田湖外輪山の西方に位置し、これら山系を源流とする浅瀬石川が中央部を流れている。

管内面積はおおよそ21,300haで山間部を占めている。気候は夏が短く積雪寒冷型の典型的な日本海型気候となっており、山間部は積雪量が多くなっている。

林況については、ブナを主とする広葉樹天然林が大部分で、管内面積の64%13,600haとなっており、蓄積は79%で167万m³を占めている。

一方人工林は7,000haとなっており、スギ、カラマツがほとんどで6齢級以下の幼齢造林地が主体となっている。地種別では、第1種林地が98%を占め、施業にあたっては大きな制約を受けている。

管内の特殊事情として、下層植生は笹型であるために人工林、天然林とも笹密生地が大半をしめて、造林事業の実行に当たっては大変苦勞しているところである。

今年度に入り、笹のエキス用としての買受希望があったことを受け、署あげて検討した結果、特に造林事業の経費節減と増収対策の観点から笹の売払を行ったものである。

2. 販売の調査方法と結果

今回ははじめてのケースであるので、地元共用林との関係及び搬出条件等を考慮して、林道近くの造林地を対象にした。売払方法は普通販売である。

以下、その内容について報告するものである。

表 1 笹販売による実行結果（平成元年度）

回数	林小班	面積 (ha)	数量 (束)	売払金額 (円)	単位当たり金額		備 考
					ha当り	1t当り	
1	102ち ₂	2.00	1,030	31,827	15,914	1,591	消費税込み
2	107ち ₂	4.00	2,027	62,634	15,659	1,648	〃
3	107ち ₂	3.43	1,712	52,900	15,423	1,603	〃
4	107ち ₁	5.92	2,738	84,604	14,291	1,627	〃
計		15.35	7,507	231,965	15,112	1,622	〃

表1のとおり、面積 15.35 ha、数量 7,507束で約 232,000円となっている。tに換算すると 143tで、haあたりでは15,112円となる。

参考までに申し上げますと、北海道局管内の浦河署で販売したクマイザサの販売事例と比較すると、当署はt当り 1,622円で、浦河署は 2,279円となり、当署の場合はやや価格が低い。

なお、売払跡地は、下刈を実行したのと同じようになり、同時にツル類も除去されることから、単純に比較計算はできませんが、当署管内で実行した下刈の請負価格で見ると、ha当り44,000円程度の経費がかかっており、調査経費 2,600円を差引いてもhaあたり41,000円程度の経費節減になるものと考えます。

売払前から売払終了までの経過を写真で説明する。

写 1 売払前の笹の状況

写 2 刈払中の状況



写 1 について

売払前の林地で、全般的に笹が人の背丈以上となっている。

写 2 について

鉋で刈り取っているところで、「つる類」も除去されていくほか、造林木に支障とならない有用広葉樹についても残すことになっている。

写 3 刈払った後の結束状況

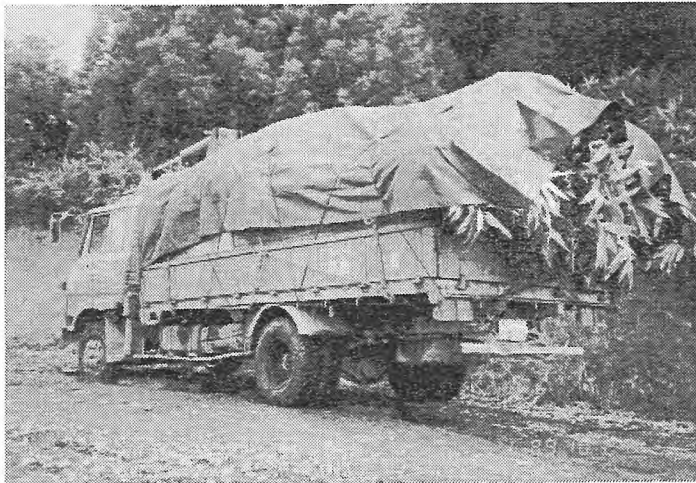
写 3 について

笹を刈払った後、
縄で結束している
ところである。

(1束当たり約15kg)



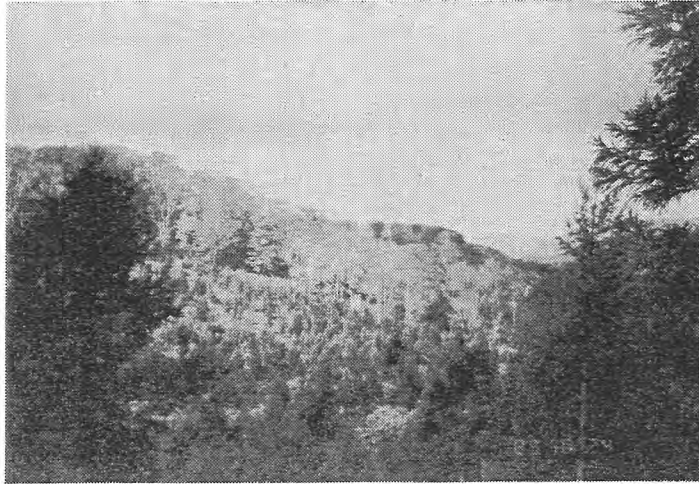
写 4 トラック積み込み後の状況



写 4 について
刈払いした笹は林道
縁までハンドトラクタ
(一部人力)で集積し
て、トラックに積込ん
だところである。

(注) シートをかけているのは、笹の乾燥防止のために使用している。

写 5 刈払った後の林地状況

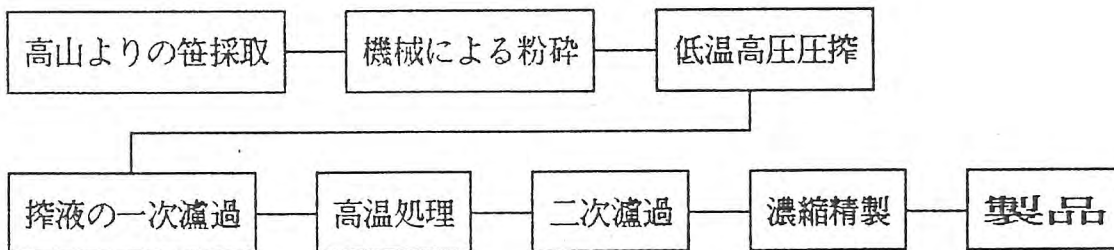


写・5 について

笹を刈払したあとの林地で、下刈終了後の林地と同様な状況となっている。

笹エキスの製法と行程について参考までに照会すると、エキスは血行を促進し、自力で健康体を守る食品とされている。

図 1



3. まとめ

笹の売払については、今後とも継続していくことにしており、平成2年度も20haで10,000束の売払を計画しているところである。

なお、今後の課題としては、

- (1) 当署管内の天然更新で後継樹を育成するうえにおいて、笹の問題が重要課題となっており、笹の販売が天然更新に当たっての補助作業に結びつけばと考えている。
しかし、当署はタケノコの産地として有名であり、地元共用林組合との調整が課題として残ります。これら、地元との調整を図る中で人工林のみならず天然林においても実行し、造林経費の節減と増収対策の一助としていきたいと考えている。
- (2) 現地にあった販売単価についても検討して参りたい。